



い き い き

小 富 士 っ 子



R 4 学校便り No.12

令和4.8.8

四国中央市立
小富士小学校



8月7日は、二十四節気の「立秋」でした。暦の上では秋となりました。とは言っても、連日の酷暑。「酷暑日」「超熱帯夜」という新しい名称も登場しました。日本気象協会が、最高気温が40度以上の日を「酷暑日」、夜間の最低気温が30度以上の日を「超熱帯夜」と定めたそうです。ただ、気象庁が予報用語として定義したものではないそうです。

熱中症アラートも連日のように出され、その中での感染症対策と渇水対策。夏休みも半分終わろうとしています。お盆による移動の多い時期を迎えます。今年は移動制限もなく、しばらく会ってない人と会うことも楽しみの一つですね。基本的な感染症対策をしっかりとって、楽しいお盆休みをお過ごしください。

なお、子どもたち及びご家族の方に陽性確認または濃厚接触者への特定がありましたら、学校へ連絡をお願いします。管理職がいない場合や夜間休日の場合は、夜間休日緊急連絡フォームにて連絡をいただければ、学校から連絡させていただきます。ご協力お願いいたします。

本物に触れる機会を

8月3日に「市社会科夏季実技研修会」があり参加してきました。四国中央市歴史考古博物館と手漉き和紙を漉いている藤原製紙所を訪れました。

この研修会は、毎年、川之江、三島、土居の3地区が持ち回りで実施しており、小学校の社会科を教える上で、実際に見学できる場所を教員が訪れ、見学したり体験したりして、学びを深めるとともに、今後の社会科教育に生かしていくことを目的として実施している研修会です。これまでには、大王製紙、丸住製紙、富郷ダム、愛媛県紙産業センター、真鍋家、宇摩向山古墳、顔のない記念碑などを見学したり、水引細工の体験をしたりしてきました。

今年は、考古博物館で、縄文土器や弥生土器、須恵器などに直接触れたり、ミニチュア銅鐸を铸造する様子を見学したりしました。また、藤原製紙所では、実際に手漉きを体験させていただきました。本物に触れることは、素晴らしいことです。

紙の町資料館で手漉きのはがきを作る体験をすることができます。また、考古博物館では、土器洗い体験やミニチュア銅鐸铸造体験をすることができます。市内にもいろいろと実体験できる施設があります。夏休み中、時間があれば体験してみるのも楽しいと思います。興味のある方は、ぜひ、お出掛けしてみてください。なお、それぞれの施設には事前の確認をお願いします。

